

## 「摩擦的な関係の解決」シリーズ

### 序論：聖書は摩擦的な関係の解決について何を教えているか

福音のメッセージとは、まさに摩擦的な関係の解決です（悔い改めと罪の赦し）。

**ルカ 24:26-27**『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。』

神様と和解することと、兄弟姉妹（他者）と和解することには密接なつながりがあります。

**1 ヨハネ 4:20-21**「神を愛している」と言いながら兄弟を憎む者がいれば、それは偽り者です。目に見える兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することができません。神を愛する人は、兄弟をも愛すべきです。これが神から受けた掟です。」

もしあなたが兄弟、または姉妹と敵対関係にあるならば、神様の視点では、あなたは嘘つきであり、神様を愛してはいません。

#### 摩擦的な関係解決の優先事項：

**マタイ 5:22-24**しかし、わたしは言うておく。兄弟に腹を立てる者はだれでも裁きを受ける。兄弟に『ばか』と言う者は、最高法院に引き渡され、『愚か者』と言う者は、火の地獄に投げ込まれる。だから、あなたが祭壇に供え物を献げようとし、兄弟が自分に反感を持っているのをそこで思い出したなら、その供え物を祭壇の前に置き、まず行って兄弟と仲直りをし、それから帰って来て、供え物を献げなさい。

もし兄弟（姉妹）と和解せずに神様を礼拝しようとしているなら、間違った優先順位を持っています。神様は、まず私たちに兄弟（姉妹）と和解し、その上で礼拝して欲しいと思っておられます。そうすることで初めて、その礼拝は神様に受け入れられるものとなります。

#### 摩擦的な関係解決における聖書的なプロセス：

**マタイ 18:15-17**「兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい。教会の言うことも聞き入れないなら、その人を異邦人か徴税人と同様に見なさい。」

摩擦的な関係の解決には3つの段階があります。最初の段階がうまくいかなければ、次の段階に行き、それでもうまくいかなければ最後の段階に移ります。

#### 1) 摩擦について1対1で直接話す。

これはあなたから行動する必要があります。罪を犯された人に会話を主導する責任があります。ゴールはその兄弟（姉妹）を得るためです。どのように相手と話すかは状況次第ですが、常にゴールは相手を霊的に勝ち得ることであることを覚えてください。そのためには、脆弱になることが必要かもしれませんし、相手に謝罪すること、または対立的になることが必要かもしれません。

#### 2) 他の証人に関与してもらおう。

2番目の段階は最初の段階の後に成されます。最初の段階を飛ばして直接2番目の段階にいかないようにしなければなりません。この段階のゴールも同じく兄弟（姉妹）を得ることです。しかし、この段階では他の2人または3人に助けを求めることになります。故に、誰を第3者として選ぶかが重要です。もしかしたら、ただ自分の言ったことに常に同意してくれるイエスマンのような人々を選ぶかもしれませんが、それは良い選択ではありません。可能であれば、関与してもらった証人は両者と信頼関係のある霊

的に成熟した人たちであるべきです。彼らは個人的な傷や意図をこの話に持ち込むべきではありません。これは集団で個人を攻撃するためのものではありません。

3) 第2段階でうまくいかない時は教会に申し出なければなりません。

これは第2段階の延長です。もし2人または3人でも相手の兄弟(姉妹)を得るために十分でなければ、教会全体がその摩擦の解決のために乗り出さなければなりません。ここでもゴールは、辱めたり困惑させたり、攻撃するためではなく、兄弟(姉妹)を得るためです。もしすべての段階がうまくいかなければ、その兄弟(姉妹)を去らせなければなりません。その兄弟(姉妹)と教会の間に健全な境界線が引かれる必要があります。そして、彼は「サタンに引き渡される」必要があります。

<摩擦的な関係の解決に取り組む時に覚えること>

相手を深く愛する：

相手のために祈り、神様にその人を深く愛する心を与えて下さるように願いましょう。

**第一ペトロ 4:8** 何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。

素早く赦す：

**マタイ 18:21-22** そのとき、ペトロがイエスのところに来て言った。「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。イエスは言われた。「あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。」

できる限りすぐに、可能であればその日のうちに和解のための話し合いを持つ：

**エフェソ 4:26** 日が暮れるまで怒ったままではいけません。

愛に根ざして真実を語る：

正直に、率直になりましょう。逃げて話を曖昧にしないようにしましょう。

**エフェソ 4:15** むしろ、愛に根ざして真理を語り、あらゆる面で、頭であるキリストに向かって成長していきます。

親切、柔和、憐れみの心で話す：(ボディランゲージや声のトーンは重要)

**エフェソ 4:32** 互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。

他者が話している時、反応や攻撃をすることなく、共感しながら聞く。理解することに努める：

**ヤコブ 1:19** わたしの愛する兄弟たち、よくわきまえていなさい。だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。

**箴言 20:5** 思い計らいは人の心の中の深い水。英知ある人はそれをくみ出す。

**箴言 18:2** 愚か者は英知を喜ばず、自分の心をさらけ出すことを喜ぶ。

**箴言 17:19** 罪を愛する者は争いを愛する。戸口を高く開く者は破れを招く。

神様に信仰を持つ：神様こそが究極的には摩擦を解決することを助けてくださる方です。

**ルカ 17:3-5** 「あなたがたも気をつけなさい。もし兄弟が罪を犯したら、戒めなさい。そして、悔い改めれば、赦してやりなさい。一日に七回あなたに対して罪を犯しても、七回、『悔い改めます』と言ってあなたのところに来るなら、赦してやりなさい。」使徒たちが、「わたしどもの信仰を増してください」と言ったとき、

自分を傷つけた人を赦す、ということはクリスチャンとして行うことの中で最も難しいことの一つかもしれません。状況や傷の度合によって赦すことを葛藤するかもしれません。赦すための十分な信仰を持っていないかもしれません。私たちが赦すことができない時、たいてい他の人から赦すように言われることは助けになりません。私たちは「信仰を増し、心を変えて赦す心を与えてください」と神様に求める必要があります。

他の人の摩擦的關係の解決を助けることにも積極的になる：

このことを実行する上で、自分の心をしっかりと守る必要があります。

**マタイ 5:9** 平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。

**ガラテヤ 6:1** 兄弟たち、万一だれかが不注意にも何かの罪に陥ったなら、“霊”に導かれて生きているあなたがたは、そういう人を柔和な心で正しい道に立ち帰らせなさい。あなた自身も誘惑されないように、自分に気をつけなさい。

相手を非難したり、攻撃することなく、自分がなぜ傷ついているのかについて脆弱になる：

自分の傾向やコーピングスタイルについて自己認識を持つ：

下記のどのコーピングスタイルも健全ではありません。

\*反撃する人は他者を傷つけ、非難する傾向があります。

\*回避する人は摩擦を避け、逃げ出し、責任を取ることをせずに自らを守る傾向にあります。

\*服従する人は自分自身を責め、すべての非難や責任を自分が受けようとします。

## 「摩擦的な關係の解決」シリーズ

### ① 霊的・精神的な傷は肉体的な傷に似ています。

私たちは皆傷つくことがあります。私たちのとる行動と反応によって、傷が感染するか治されるかが決まります。私たちはより強くなりますか。それとも、ひどい傷跡を残しますか。

私たちが傷ついた場合：

\* 私たちは支援者（医者）を呼ぶ必要があります。

\* 薬が効くための時間を必要とします。

\* より強くなることができます

\* 傷跡と苦痛は残ることがあります。

ゴール：傷を清潔にするために、正しい反応・対応が必要

何が起ころうと聖書的な反応をし、御言葉に従いましょう。

**第一ペテロ 2:21-23** あなたがたが召されたのはこのためです。というのは、キリストもあなたがたのために苦しみを受け、その足跡に続くようにと、模範を残されたからです。「この方は、罪を犯したことがなく、／その口には偽りがなかった。」ののしられてもののしり返さず、苦しめられても人を脅さず、正しくお裁きになる方にお任せになりました。

私たちの欠点を認めましょう。私たち自身の罪に注目しましょう。裁判官である神様に委ねましょう。

医者を非難しても意味がありません。教会や神様を非難しても建設的ではありません。

それは神様のせいではありません。神様にフラストレーションをぶつけても解決にはなりません。

医者の指示に従う：

**コロサイ 3:13** 互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦して下さったように、あなたがたも同じようにしなさい。

\*キリストの模範に倣いましょう。

**ルカ 23:34** そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです。」人々はくじを引いて、イエスの服を分け合った。

心を清めるために：

ガンジーは彼を殺そうとするものを愛し赦すために祈りました。

彼は、撃たれる前に、暗殺者にお辞儀しました。

著者オースティン Smedes: 「赦すことは旅行のようです、長く、また、完全な治療の終点へ到着する

前に、私たちは時間を必要とするかもしれません。」

時間をかけて、私たちが治してくださるように神様に信頼し頼る必要があります。祈りに時間をかけて、神様に心を開き、私たちの痛みを引き渡してください。

包帯を取り除く必要性：

\* 再び神様に信頼し、人を信頼することを始める必要があります。しかし段階を踏んでやるのが大切です。再び心を開いて神様に委ねることが大切です。

傷口が再び開かないように：

**箴言26:20** 木がなければ火は消える。陰口を言う者が消えればいさかいは鎮まる。

私たちのかさぶたを突つくのをやめましょう。傷のことでいつまでも悩んだり、引きずらないようにしましょう。そうすれば火は消えます。時間が流れてゆく中で苦々しさを手放しましょう。傷は常に罪の結果とは限りません。時に神様や他者から愛のために傷つけられることがあります。もしかしたら、まだ自らの罪に砕かれていないために傷つくのかもしれない。

**ヨハネ 21:17** 三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなった。

考える質問：

- 1) 肉体的に傷を負った経験を思い出して見てください。それを情緒的・精神的な傷と比べてみてください。私たちがそこから学ぶことができるレッスンは何ですか。
- 2) 私たちが受けた傷に関して決心できることは何ですか。

## 「摩擦的な関係の解決」シリーズ

### ②できることとできないこと

ゴール: クリスマンとして摩擦的な関係に対応するためには摩擦についての理解を深める必要があります。

多くの場合摩擦的な関係の結果、怒りが生じて相手が変わるまで解決しないかそのまま関係が壊れてしまいます。時には、解決するために相手に対しての期待を下げる必要があります。

相手に対しての期待が高すぎて、相手が自分の期待にとどかない時、相手のせいで関係が修復しないことがあります。

感情としての怒りは時に現れます。しかしその感情のままに長くいてはいけません。

摩擦的な関係によって私たちの心が開かれたり、新しい希望が誕生する場合があります。

摩擦的な関係が解決されることによって以前よりも親しく深い関係ができるチャンスがあります。

摩擦的な関係の真っ最中に考えること：WWJD「イエスだったらどのような態度をとるか」

私たちは、イエスに注目する時に自分の罪を認めやすくなります。

私たちには他の人々の反応を支配することはできません。自分の心に責任を取りましょう。

相手が赦してくれるか、またはどう反応するかは私たちに支配できません。

なるべく自分がコントロールできる部分に集中しましょう。そうすれば自由になれます。

**マタイ7:5** 偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除け。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からおが屑を取り除くことができる。

まず自分の罪を悔い改めることに集中しましょう。

健康な境界線の作り方を学びましょう。

**ローマ書12:18** できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らなさい。

### 摩擦的な関係の中でやるべきこと

キリストのようにふるまう、和解を求める、正直に話す、赦す心を持つ、愛と憐れみを持つ、相手の話をよく聞く、自分の責任をできるだけとる、自分のプライドを捨てて相手を尊重する、相手の立場になって考える、自分が感じていることを丁寧に説明する、あなたがどのような変化を求めるかを丁寧に話す、譲る心を持つ、想像力をいかして解決を見つける、どうしても合意に至らない場合は一致しないことを受け入れる—そうであっても大丈夫です。感情が高ぶる場合は「タイムアウト」をとること—高ぶってしまっている時に相手を傷つける言葉を言わないように注意する。

### 摩擦的な関係の中でやらない方がよいこと

罪を犯す、相手を中傷する、復讐心を持つ、嘘をつく、相手を見下すような発言をする、怒りを爆発させる、感情的な発言をする、口だけの発言をする、相手を責める、相手の動機を責める、被害者として振舞う、喧嘩に勝とうとする、すべてが自分のせいだと思う、無言になる、相手を変えようとする、『目には目を』というような行動を取る、

時々極端な摩擦が生じます。その時には第三者または専門家の助けを必要とする場合があります。

### 極端な摩擦(第三者あるいは専門の支援を必要とする)の状況

- \* 暴言を言ったり、怒鳴ったり、肉体的虐待を脅かす場合
- \* 間違っていることを一切認めないか、一切責任を取ろうとしない場合
- \* 精神的な病気が重篤な場合

### 摩擦的な関係の解決へのステップ:

- \* 祈る。話す。真実を明らかにする。
- \* 話を聞く：丁寧に静かに、明確にする質問をする。相手を理解しようとする。
- \* 自分の罪と誤りを認めて謝罪します。
- 不一致にもかかわらずその人を愛してください。許します。

考える質問：

- 1) 今の状況で何が出来ますか。できないことは何ですか。書き出してみてください。
- 2) 何も出来ないことで悩んでいますか。悩まずに神様に委ねてください。(フィリピ 4 章)

## 「摩擦的な関係の解決」シリーズ

### ③ 聖書的な和解を理解すること

聖書的な和解がなされるために必要な段階

- 1) 罪を告白すること：まず神様に対して、次に傷つけた相手に対して
- 2) 罪を赦すこと
- 3) 新しい関係を築くこと

#### 1) 罪の告白すること

**箴言28:13** 罪を隠している者は栄えない。告白して罪を捨てる者は憐れみを受ける。

**ヤコブ5:16** だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大

きな力があり、効果をもたらします。

癒しが必要な場合原因はたいてい罪にあります。罪を告白し、悔い改め、神様に赦される必要があります。神に赦して頂く過程の中に霊的な癒しが行われます。

人に傷つけられた場合、私たちが怒ったり、苦々しくなったとしても、自分が被害者だという考えをもとに自分の罪を正当化する可能性があります。自分がどのように傷つけられたとしても罪を犯す言い訳は一切ありません。私たちの反応が聖書的ではなく、罪を犯すような反応であれば罪を神様の前で告白する必要があります。

私たちが自分の罪を告白しなくなる時に自分が罪人であることを忘れてしまいます。その時に謙虚さを失い、十字架から目が離され、かたくなな心になる可能性があります。

## 2) 罪を赦すこと

**マタイ18:35**「あなたがたの一人一人が、心から兄弟を赦さないなら、わたしの天の父もあなたがたに同じようになさるであらう。」

人を赦すことは選択ではありません。神様からの掟です。神様に赦されたように私達も赦さなければなりません。赦しは罪を見逃すこと、責任転換すること、寛容に忘れるということではありません。罪の赦しは安っぽいものではなく、代価は高かったのです。それはキリストの十字架でした。罪の赦しは罪を妥協したり、見逃すことはありません。罪の赦しは罪が犯されたことに注目し、それを直面し解決することです。罪を赦した段階ではもう二度と話さない決心が必要です。繰り返して話すことは赦していない証拠です。

罪を赦さなかったり、自分のことを可愛そうだと思ったり、受けた傷に対して恨みを持ち続けることなどによって私たちはうつ病になったり、苦々しさの奴隷になったりする可能性があります。

## 3) 新しい関係を築くこと

**ルカ11:24-26**「汚れた霊は、人から出て行くと、砂漠をうろつき、休む場所を探すが、見つからない。それで、『出て来たわが家に戻ろう』と言う。そして、戻ってみると、家は掃除をして、整えられていた。そこで、出かけて行き、自分よりも悪いほかの七つの霊を連れて来て、中に入り込んで、住み着く。そうすると、その人の後の状態は前よりも悪くなる。」

新しい関係を築かないとサタンが働いて一度解決したはずの問題をまた繰り返すように逆戻りしてしまう可能性があります。新しい関係を築くには丁寧に信頼関係を作ることが必要です。

赦しはすでにおきた過去のことに関してであり、信頼はその時から先のことに関してです。過去の罪が赦されたとしても必ずしも信頼があるわけではありません。罪と摩擦があった場合信頼が壊れた可能性が高いのです。尊敬と気遣いを持って丁寧に関係を作り直すことが大切です。

考える質問：

- 1) どのようにしたら相手と新しい関係ができますか。

# 「摩擦的な関係の解決」シリーズ

## ④裏切られた感情

**ローマ12:17-21**「だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らさなさい。愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。『復讐はわたしのすること、わたしが報復する』と主は言われる」と書いてあります。「あなたの敵が飢えていたら食べさせ、渴いていたら飲ませよ。そうすれば、燃える炭火を彼の頭に積むことになる。」悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい。

友達や家族によって傷つけられたり、私たちが信頼した人に傷つけられると、情緒的苦痛を感じたり、精神的な混乱に陥ります。イエスは友達に裏切られました：

**マタイ26:50** イエスは、「友よ、しようとしていることをするがよい」と言われた。すると人々は進み寄り、イエスに手をかけて捕らえた。

イエスは裏切られたにもかかわらず、ユダを友と呼びました。

**第一コリント11:23** わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、

裏切られた夜に、イエスは聖餐式を設立しました。彼は自己憐憫に陥ってはいませんでした。裏切られたと感じた時には：

#### 1) 赦す

人を赦すよりも、苦い根を持つほうが簡単です。謝罪がなくても赦すことは大切です。心から赦した時その瞬間は囚人を解放した時のようです。その囚人とは自分です。

#### 2) 恵みを持ち寛大に相手に接する

「裏切る人」は悪く見えていました。恵みをもって相手を見ることが大切です。寛大で接することによって多くの問題は解決されます。

\*\*時々リーダー的な立場の人は他の人にどのような傷を与えているかに対して十分に理解がありません。

\*\*場合によって人は自分の痛みで思いがいっぱいになり、他のことに関して盲目的になってしまいます。

#### 3) 神様に裁きを委ねる

**マタイ5:43-48** 「あなたがたも聞いておおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言っておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるだろうか。徴税人でも、同じことをしているではないか。自分の兄弟にだけ挨拶したところで、どんな優れたことをしたことになろうか。異邦人でさえ、同じことをしているではないか。だから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」

神様が裁判官です。私たちの役割は裁くことではないのです。

#### 4) 神様との関係によって平和を取り戻す

**創世記50:20** あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変え、多くの民の命を救うために、今日のようにしてくださったのです。

ヨセフは兄弟に裏切られ傷つけられましたが、神様の計画を信じ、神様との関係によって平和を持ちました。実際に起きたこと以上に大きな神様の計画は何だったのでしょうか。神様はすべてを支配しています。このことを通して、神様は何を成し遂げましたか。

#### 5) 裏切りの行為を神様の栄光に変えていく

**第二コリント1:4** 神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。

苦痛は場合によって慰めに結びつきます。自分自身がそれを通り抜けた場合、他の傷ついた人々を慰めることができます。その時にイエスの苦しみに対してのありがたみが増すでしょう。

考える質問：

- 1) イエスはなぜ裏切られたにも関わらず愛し続けられましたか。
- 2) 裏切られたと思う人に対してそれだけ愛情、期待があったのではないのでしょうか。

## 「摩擦的な関係の解決」シリーズ

### ⑤摩擦的な関係の解決について具体的に

共通認識を持てるところから話し合う、摩擦の原因となっている内容から話さない、  
まずお互いに納得する部分を会話の土台にする

その後には：議論では、いくつかの基本的なルールの上で話し合う

最初の人からまず語り：5分間、相手は途中で割り込まない

それが終わってから聞いている相手が質問する、議論ではないことを覚える

**ヤコブ1:19-20**わたしの愛する兄弟たち、よくわきまえていなさい。だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。人の怒りは神の義を実現しないからです。

**箴言15:2**知恵ある人の舌は知識を明らかに示し／愚か者の口は無知を注ぎ出す。

**箴言18:2**愚か者は英知を喜ばず／自分の心をさらけ出すことを喜ぶ。

誤解があればそれを明確にする。謝罪が必要。中心的な問題以外のことで意見が合わないことはあまり問題ではありません。

意見の食い違いに対応する方法

- 1) 自分の考える小さな問題ではなく、もっと大きく物事を見る
- 2) 問題ではなく、人を攻撃することに気をつける。できるだけ人と問題を別々に考える
- 3) 相手の視点から見て正しいことは認める
- 4) どうしても意見が食い違う場合は感情がたかぶらないように、問題を拡大しないように注意する

**使徒15:39-41**そこで、意見が激しく衝突し、彼らはいよいよ別行動をとるようになって、バルナバはマルコを連れてキプロス島へ向かって船出したが、一方、パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて、出発した。そして、シリア州やキリキア州を回って教会をカづけた。

パウロとバルナバはヨハネ・マルコの問題について同意することができませんでした。激しく衝突しました。全くこの問題で一致することができないままそれぞれ別れました。しかし、互いに中傷し合ったり、敵になることはしませんでした。間違っていたのは誰でしたか。神様だけが知っています。二人は兄弟に関わってもらって問題を拡大せず前に進むことが出来ました。時間と神様の恵みによって問題は解決されました。彼らの解決方法によって神様の偉大な計画は妨害されませんでした。それぞれがその後豊かに神様に用いられることになりました。

私たちは、必ずしも問題について合意するとは限らないでしょう。必ずしも問題について合意する必要はありません。違いと不一致がある状況でも、共に働ける方法を学び、互いを尊敬することが大切です。互いに合意できない時には、他の人に関与してもらいましょう。霊的に成熟した第三者に助けを求めましょう。修復不可能になるまで摩擦を発展させないように気をつけなければなりません。

自分の意見を弾丸のようにではなく、種のように用いてください。  
相手を傷つけるのではなく成長するように、丁寧に言葉を心に植えましょう。



考える質問

- 1) なぜヤコブの1章で聞くことと怒りが関連づけられていますか。
- 2) 自分自身の人の話を聞く能力を採点してみてください。具体的にどのように成長できますか。

## 「摩擦的な関係の解決」シリーズ

### ⑥赦されているから赦す

**マタイ18:21-23** そのとき、ペテロがイエスのところに来て言った。「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」イエスは言われた。「あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。そこで、天の国は次のようにたとえられる。ある王が、家来たちに貸した金の決済をしようとした。

\*ペテロが7回だけ赦すことを提案しました。罪を犯された回数を数えていたかのようなようでした。

\*イエスの答：77回、あるいは7の70倍：つまり数え切れない程です。7という数字は完全を意味する可能性があります。

**マタイ18:24-25** 決済し始めたところ、一万タラントン借金している家来が、王の前に連れて来られた。しかし、返済できなかったで、主君はこの家来に、自分も妻も子も、また持ち物も全部売って返済するように命じた。家来はひれ伏し、『どうか待ってください。きっと全部お返しします』としきりに願った。その家来の主君は憐れに思って、彼を赦し、その借金を帳消しにしてやった。ところが、この家来は外に出て、自分に百デナリオンの借金をしている仲間に出会うと、捕まえて首を絞め、『借金を返せ』と言った。仲間はひれ伏して、『どうか待ってくれ。返すから』としきりに頼んだ。しかし、承知せず、その仲間を引っぱって行き、借金を返すまでと牢に入れた。仲間たちは、事の次第を見て非常に心を痛み、主君の前に出て事件を残らず告げた。そこで、主君はその家来を呼びつけて言った。『不屈きな家来だ。お前が頼んだから、借金を全部帳消しにしてやったのだ。わたしがお前を憐れんでやったように、お前も自分の仲間を憐れんでやるべきではなかったか。』そして、主君は怒って、借金をすっかり返済するまでと、家来を牢役人に引き渡した。あなたがたの一人一人が、心から兄弟を赦さないなら、わたしの天の父もあなたがたに同じようになさるであらう。』

例え話の意味:

家来には、一万タラントン、今の金額に換算すると何百万ドルもの借金がありました。

25節 家来には妻と子供がいました。絶望的な状況でした。

26節 家来はひれ伏し、哀れみを求めました。彼は返済するつもりでしたが、その方法はありませんでした。

**27節： 返済の方法がなかったことを知っている主君が、哀れみを示し負債を取り消しにしました。**

イエスの十字架の犠牲によって神様は私たちの多大な罪を取り消しにしてくださいました。

キリストの十字架：これがすべてです。

\* 神様は私たちの罪を赦してくださいました。私たちが返すことができなかった負債をすべて帳消しにしてくださいました。

負債を取り消しにされた僕は自分に対して負債を抱えた人にどう対応しましたか。

28-31節

自分が示されたように相手の人に憐れみを示しませんでした。無慈悲で赦しませんでした。

彼に負わされた負債はわずか数百ドルでした。

私たちが神様に赦された罪と人が私達に対して犯した罪を比較すると。。。

私たちは、神が私たちをどのように赦して下さったかを忘れていませんか。

**コロサイ2:13** 肉に割礼を受けず、罪の中にいて死んでいたあなたがたを、神はキリストと共に生かしてくださったので  
す。神は、わたしたちの一切の罪を赦し、

**エフェソ4:32** 互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合  
いなさい。

私たちが神様に赦されているからこそ、互いに親切にし、赦し合うことができます。  
人が私達をどのように傷つけたとしても、謝らなかったとしても、私達がどのように神様を傷つけ  
たかと比べるとそれほどではないはずです。

次のことを考えてみてください：

- 1) 自分はどのように傷つけられましたか？ それに対してどう反応しましたか？
- 2) 自分の罪や過ちは何ですか。自分の罪を赦していただくように謝罪してください。
- 3) 心から赦すことができるように神様に祈ってください。

もしあなたが赦さないならば、神様はあなたをお赦しになりません。赦しの欠如の結果として救い  
を失うかもしれません。これは真剣な問題です。時間がかかるかもしれません。難しいプロセスか  
もしれません。私たちは聖書に従い赦すために、できることは何でもしなければなりません。私た  
ちが熱心な態度を持つ時、神様が私たちの心を変えてくださり、赦せるように助けてくださいます。

## 「摩擦的な関係の解決」シリーズ

### ⑦感情が高ぶっている摩擦の時

傷によって怒りに満ちた衝突がある場合二つの選択があります：

- 1) 自己弁護し自分を守る体制に入る
- 2) 落ち着いて深呼吸し、冷静になり、神様に知恵を求めること

**ヤコブ1:19** わたしの愛する兄弟たち、よくわきまえていなさい。だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに  
遅いようにしなさい。

自己認識を持つことが大切です：自分が傷ついているその場から逃げたいか仕返したくなる傾向が  
あることを理解し、そうならないように注意することが必要です。

**エフェソ4:26-27** 怒ることがあっても、罪を犯してはなりません。日が暮れるまで怒ったままでいてはいけません。悪  
魔にすきを与えてはなりません。

怒ること自体は罪ではありません。罪になるかどうかは自分の怒りにどう対処するか次第です。あ  
る人々は怒りが罪となり、更に発展した摩擦と罪のスパイラルに陥ります。悪魔にすきを与えてし  
まったからです。怒る時に罪を犯すことによって、悪魔が私達を支配し勝利をおさめることを許  
してしまうです。

相手の観点から事態を理解するように努力すること。

\*相手の傷と彼らの感情を理解して受け入れるようにしてください。

過去の経験より良い解決方法で接してみてください。

その人により良い解決方法を教えられるチャンスです。

前向きな姿勢で彼らに向かい、出来るだけ尊敬、愛と安心感を伝えるようにして下さい。

自分の過ちをまず認めること。それによって謙遜さ、または誠実さが伝わります。  
私たちは正しくある必要がなく完全である必要もありません。  
謙遜は卑下でも自己嫌悪でもありません。責任をすべてあなた自身で負うことは健康ではありません。  
自分が支配できないことに対して謝罪しても意味がありません。

摩擦中に自分に言い聞かせる言葉：

- 私は大丈夫です、これらの感情は私を傷つけないでしょう。
- 自分は完璧ではない。過ちはおかします。
- 私は完璧でなくても神様に愛されています。
- 相手が怒っていたら多分傷ついていて哀れみが必要です。
- 危険を感じた場合、私は境界線を引き距離をおくことができます。
- 話し合いが混乱すれば、物事をクリアにするためにタイムアウト（休憩）をとっても問題ありません。
- 相手の人が私に正直に直面するためには勇気を必要としています。
- 話し合いができたことによって解決に結びつく場合があります。
- 相手の話を聞くだけになったとしても効果的です。
- 私は相手とは別の人間で、この人が感じているのと同じ感情を感じる必要はありません。
- 十字架で死んでくださったイエスに感謝します。
- 何を言われても神様の栄光を表すようにしよう。